別紙

研究機器利用サポート制度（変更）申請書

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請年月日 | | 令和〇年〇〇月〇〇日 | | | |
| 所属（学科等） | | 〇〇〇〇〇 | | 氏名 | 〇〇　〇〇 |
| 電話番号 | （内線）〇〇〇〇 | | メールアドレス | 〇〇〇〇@yamaguchi-u.ac.jp | |
| 担当教員氏名 | | | 担当教員による署名【応募者が大学院生の場合のみ】 | | |
| 利用予定の施設名 | | | 〇〇〇センター又は〇〇〇施設 | | |
| 利用予定の研究機器名 | | | 〇〇〇〇〇〇 | | |
| 利用予定の期間 | | | 令和〇年〇〇月〇〇日～令和〇年〇〇月〇〇日 | | |
| 利用予定回数又は利用予定時間  （支出予定額） | | | 延べ〇〇回　又は  延べ〇〇時間（〇〇時間〇〇分×〇回）  （合計〇〇，〇〇〇円（単価×〇〇時間又は回）） | | |
| 利用目的　　　【記入例】 | | | | | |
| 【研究概要】  　このたびは〇〇〇の研究を目的とし，これまでの研究において課題となっていた〇〇〇を明らかに（解決）するため〇〇〇を実施する。  【研究機器の活用方法】  　〇〇〇を明らかに（解決する）ため，これまで利用したことのない〇〇機器を用いて〇〇〇を測定することで，〇〇〇に有効か検証する。〇〇〇に有効となれば，今後，同様の測定が増えることも考えられる。  【研究機器の利用拡大】  　この検証の結果，〇〇〇に有効となった場合には，継続的な利用が想定される。また，〇〇〇を研究している分野の利用が増える可能性も考えられる。  【研究力の向上】  　〇〇〇の課題が明らかになる（解決する）ことで，〇〇〇に繋がる（〇〇〇分野の〇〇〇の研究に貢献できる）可能性がある。  【その他】  　〇〇〇〇〇〇〇。 | | | | | |

※申請書は１ページとします。

※利用申請書の個人情報は，本制度以外の目的では使用しません。

※変更が生じた場合，変更箇所を２段書き（上段：変更前，下段：変更後）して提出。